

様式2

第 7 号

## 県の回答（対応状況等）

令和6年7月1日

（ご意見標題） 高校の体育のプール必須をなくしてほしい

（担当課） 教育庁保健体育課

（ご意見要約） 高校の体育のプール必須をなくしてほしい。高校生全体に本気でアンケートすべき。必須というもおかしいと思います。本当に見直しのほど宜しくお願ひします。

（回 答）

学習指導要領において、水泳の授業は、

- （1）記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと。
- （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- （3）水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。

を、目的としてします。

水泳の授業の開催時期や方法については、各学校の実態に応じて、それぞれの学校の判断において実施されます。沖縄県教育委員会としては、上記の目的が達成され、沖縄の子どもたちの成長の為に実施されるものと考えております。健康・安全についての学びもあることから、水泳学習の意義についてご理解をお願いいたします。

また、以上のことから水泳の授業の実施についてのアンケートを全県的に行うことは、難しいと考えております。